

2017年度点検・評価シート

※下記の指摘事項、課題を踏まえて、Ⅱ点検・評価 Ⅲ【達成目標】欄を記述してください。

(進捗状況を【現状説明】に記述し、必要に応じて新たに【目標】を設定する。)

<p>2016年度大学評価（認証評価）結果指摘事項</p> <p>一努力課題</p> <p>1) 収容定員に対する在籍学生数比率について、外国語学部中国語学科が0.87、経済学研究科博士課程前期課程が0.35、同博士課程後期課程が0.07、法学研究科博士課程前期課程が0.21、同博士課程後期課程が0.04、アジア地域研究科博士課程後期課程が0.25、経営学研究科博士課程前期課程が0.33、同博士課程後期課程が0.20と低いので、改善が望まれる。</p>
<p>2016年度外部評価委員会指摘事項</p> <p>なし</p>
<p>前年度からの課題（2016年度点検・評価シート IV次年度への課題 より転記）</p> <p>なし</p>

I 評価項目・担当部局

対象部局	外国語学部
評価基準5	学生の受け入れ 【自己評定 A】
点検・評価項目(1)	5-1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
評価の視点	求める学生像の明示
	当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示
	障がいのある学生の受け入れ方針
点検・評価項目(2)	5-2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
評価の視点	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性
	入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
点検・評価項目(3)	5-3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
評価の視点	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性
	定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
点検・評価項目(4)	5-4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

Ⅱ 点検・評価 対象期間は2016年4月～2017年5月までとする。(教員数、学生数などのデータの基準日は2017年5月1日)

【点検・評価項目ごとの現状説明】

5-1	<p>外国語学部は、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、専攻言語に関する学識を修め、幅広い教養と国際的視野に立脚した職業能力を有する人を育てるために、下記のような人物を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専攻言語を学ぶのに十分な基礎学力を有する人 2. 国際社会で活躍するために自分の意思を自由に表現できる語学力をつけたい人 3. 日本語を言語のひとつとして客観的に学習してみたい人 4. 外国の社会、文化、歴史だけではなく日本についても学んでみたい人 5. 留学プログラムに積極的に参加して、異文化に接し異文化を体験することにより、自分のものの見方、価値観をもう一度見直したい人 <p>・障がいのある学生を受け入れる手続きについては学生支援センター中心に大学全体で整備を進めている。該当する学生には入学前に申請を行ってもらい、入学後の学修支援等を含めた受け入れ方針に従って学科主任が当該学生、場合によっては保護者とも面談を行い、支援内容について教授会に報告する。</p>
5-1	<p>以下の評価の視点について、新たな取組の有無、または、継続している取組の成果の有無を【 】内に○・×で記入し、○の場合はその内容と結果を記述してください。</p> <p>学生の受け入れ方針の策定について【○】</p> <p>具体的事例：三つのポリシー見直しの一環として、アドミッションポリシーの新規策定に着手している。</p>
5-2	<p>・入学者選抜については、公平性と透明性の原則に則って、適切に行われている。</p>
5-2	<p>以下の評価の視点について、新たな取組の有無、または、継続している取組の成果の有無を【 】内に○・×で記入し、○の場合はその内容と結果を記述してください。</p> <p>(1) 学生募集方法、入学者選抜方法について【×】</p> <p>具体的事例：</p>

	(2) 入学者選抜において透明性を確保するための措置について【×】 具体的事例：
5-3	在籍学生数の管理については、毎年度の入学者受け入れ数を設定し、教授会での合否判定において、過去の入学手続き率、入学定員超過率等を勘案し、適正に行っている。2014～2017 年度入試の入学定員に対する入学者数比率（入学定員充足率）の学部平均は 1.10 倍である。学科別では、中国語学科が 0.94 倍、英語学科が 1.14 倍、日本語学科が 1.18 倍で、中国語学科が 2012 年度から 4 年連続で定員未充足であったが、2016 年度、2017 年度入試においては定員を満たして改善が見られる。2017 年 5 月 1 日現在、学部の収容定員に対する在籍学生数比率（収容定員充足率）は 1.07 倍であり、適切である（d1-表 4、B5-22 d2-表 33）。中国語学科は 2017 年度入試より入学定員を 100 名より 70 名に減じ、77 名の入学者を受け入れたことにより、2012 年度より 4 年間続いた定員未充足の課題を解消した（d1-表 4）。
5-3	以下の評価の視点について、新たな取組の有無、または、継続している取組の成果の有無を【 】内に○・×で記入し、○の場合はその内容と結果を記述してください。 (1) 収容定員に対する在籍学生数比率について【○】 具体的事例：2017 年度入試において入試広報課が統括的管理を行い、一定の成果を上げた。 (2) 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応について【○】 具体的事例：中国語学科では 2017 年度より入学定員を 30 名減じて 70 名とした。
5-4	学生募集と入学者選抜の適切性については、学科協議会および学部教授会において定期的に検証を行い、大学の入学試験委員会に報告することになっている。また、年度ごとの自己点検・評価でも検証を行っている(B5-11)。
5-4	以下の評価の視点について、新たな取組の有無、または、継続している取組の成果の有無を【 】内に○・×で記入し、○の場合はその内容と結果を記述してください。 学生募集および入学者選抜の検証に関する責任主体・組織、権限、手続きについて【×】 具体的事例：

【効果が上がっている事項】

5-1	
5-2	
5-3	
5-4	

【改善すべき事項】

5-1	アドミッションポリシーの改訂を行い、2018 年度に公表できるよう作業を進める。
5-2	
5-3	
5-4	

Ⅲ 【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価				
			2014	2015	2016	2017	2018
中期目標 (2014～ 2018)	5-2,5-3・安定的な志願者・入学者が確保できている。学力選抜（一般入試）による入学者と非学力選抜（推薦入試等）による入学者の適正な比率が保たれている。一定の学力水準を維持するための選抜機能を入試が果している。	・入学定員が適正に確保されている。 ・受験倍率 2.5 倍以上、学力選抜入学者比率 60%、センター利用入試の平均得点率 65%が確保できている。			A	B	
	5-1・障がいのある学生を受け入れる手続きについて、入学後の学修支援等を含めた受け入れ方針を学部学科レベルで整備するための検討を開始する。	・左記の受け入れ方針が整備されている。			S	S	
16 年度 目標	5-1・障がいのある学生に対する学修支援を徹底するため、学生支援センター所属の臨床心理士によるセミナーを実施する。	・教授会において実施されている。			S		
17 年度	(対象期間は 2017 年 4 月～2018 年 3					A	

目標	月) 5-1・改訂した学生の受け入れ方針を 明示する。	・学部教授会の承認を経て、学部ホーム ページ、履修の手引き等に記載される。
----	-----------------------------------	--

--	--	--	--	--

IV 評価専門委員会所見

<p>5-1【現状】アドミッションポリシーの新規策定に関して、2018年度の公表に向けて着手していることは、評価できます。</p> <p>5-2【現状】定員数厳格化に伴い学生募集方法、入学者選抜の方法について、今後の検討が望まれます。</p> <p>5-3【現状】学部定員に対する在籍学生数が、過去に未充足であったことに対し、適正に確保されていることは評価できます。同時に中国語学科の定員変更による効果も評価できます。</p> <p>5-4【現状】学生募集及び入学者選抜の検証に関する責任団体・組織、権限、手続きについて、新たな方策検討を期待します。</p>

V 所見への対応

<p>5-4【現状】「学生募集及び入学者選抜の検証に関する責任団体・組織、権限、手続き」は各学科協議会が責任をもって行って来ました。全学組織である「入学試験委員会」でのチェック、提言がフィードバックされるよう要望を出して行きます。</p>

VI 次年度への課題

--

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

<p>A5-1 大学案内「CROSSING2016」 <既出>A1-6</p> <p>A5-2-1 2017年度 大東文化大学 一般入学試験要項</p> <p>A5-2-2 2017年度 外国人留学生募集要項[学部生]</p> <p>A5-2-3 2017年度 社会人特別選抜試験要項</p> <p>A5-2-4 2017年度 編入学試験要項（3年次編入）（2年次編入）</p> <p>A5-2-5 2017年度 科目等履修生募集要項</p> <p>A5-3-1 2017推薦入学試験要項【公募制推薦/自己推薦(前期)(後期)】</p> <p>A5-3-2 2017年度 指定校推薦入学試験要項</p> <p>A5-3-3 2017年度 大東文化大学第一高等学校推薦入学試験要項</p> <p>A5-3-4 2017年度 工学院大学附属高等学校推薦入学試験要項</p> <p>A5-3-5 2017年度 スポーツ推薦入学試験要項</p> <p>A5-6 大東文化大学学則 <既出>A1-1</p> <p>B5-4 大東文化大学入学試験委員会規程</p> <p>B5-6 大学HP入試情報 http://www.daito.ac.jp/admission/index.html</p> <p>B5-11 大学ホームページ（自己点検・評価活動）</p> <p>http://www.daito.ac.jp/information/examine/inspection/index.html <既出>B1-16</p> <p>B5-21 大学ホームページ（情報公開）http://www.daito.ac.jp/information/open/index.html</p> <p><既出>B1-6</p> <p>B5-22 大学データ集 <既出>B1-22</p> <p><大学基礎データ></p> <p>d1-表3 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移</p> <p>d1-表4 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数</p> <p>【追加資料】</p> <p>2016年度学生手帳</p> <p>大学案内「CROSSING2017」</p>
